



































# 【ドセタキセル+S-1療法について】

お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、**次回の治療開始を延期することがあります。**)

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	作用	点滴時間																					
グラニセロンバッグ デキサート注	吐き気止めです	15分																					
<b>ドセタキセル注</b>	<b>抗がん剤です</b>	1時間																					
生理食塩液																							
<b>エスワンタイホウ</b>	<b>抗がん剤です</b>	朝食後																					
		夕食後																					

15日目の夕食後以降は、お薬が余っていても、内服せずに保管しておき、次回の外来受診時に持参してください。

1回 錠

# 治療による副作用

：注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		
自覚症状	食欲不振・吐き気																						吐き気が起こることがあります。我慢せず、吐き気止めの薬を使いましょう。	
	口内炎																						口の中が荒れて痛みが出る場合があります。刺激物は避けて、歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行きましょう。	
	味覚障害																						食事の味が分かりにくくなる場合があります。	
	手足のしびれ																							手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出る場合があります。
	むくみ																							治療回数が増えると生じることがあります。気になる症状がありましたらお知らせ下さい
	皮膚・爪症状																							皮膚に痒みや発赤、爪の変色、痛みなどの症状がありましたらお知らせ下さい。
	筋肉痛・関節痛																							肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなる場合があります。
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																							治療開始2週間後から抜け始めます。頭皮の清潔を保つようにしましょう。
	下痢																							便の回数が多くなったり強い腹痛をとまることがあります。1日4回以上、水のような便が出るときは病院に連絡して下さい。
	手足症候群																							手足がチクチク痛い、赤く腫れる、ひび割れ、水疱が生じることがあります。保湿剤を使い手足の乾燥を予防しましょう。
	色素沈着																							肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。
	流涙(涙が出る)																							涙がでたり、目の充血、目が痛い、物が見えにくい、目がかすむなどの症状が出る場合があります。
検査値	白血球減少																						感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。37.5度以上の発熱時はお知らせ下さい。	
	赤血球減少(貧血)																						めまい・ふらつき・立ち眩みなどの症状がでたりするので注意しましょう。	
	血小板減少																						鼻血や歯ぐきから血が出やすくなる場合があります。普段よりも長めに止血するようにしましょう。	



- \* 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせ下さい。
- \* 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- \* それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- \* 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどがありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。